

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成26年10月22日
タイトル	学校農園でみんないきいき！
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

平成26年10月7日（火）福山市東村町において、福山市立東村小学校と福山市立東村保育所の子ども達が農業体験をしました。このほ場は、学校給食食材納入グループ「若草会」が管理している学校農園です。

学校給食食材納入グループ「若草会」は、水土里ネット福山の組合員 すぎはらなおみち 杉原直道さんが代表をしておられ、現在会員21名で、生産者は16名おられます。



学校給食食材納入グループ「若草会」のみなさん

この学校農園がある地域は、水土里ネット福山が平成3年度から平成5年度にかけて東村西地区ほ場整備事業を施行した地域です。しかし事業施行から20年が経過し、組合員の高齢化などにより耕作放棄地となったほ場を学校農園として利用したものです。

約30aの学校農園は水田と畑があり、水田の20aは、若草会会員で水土里ネット福山の組合員 かいのあきのり 廻野明倫さんが中心となり管理をしておられます。

この水田は、特別栽培農産物として農薬を極力使わないで栽培しているもので品種は「ひのひかり」です。

水田のとなりにある畑（約10a）では、野菜を栽培し給食に使っています。この学校農園以外でも若草会会員のほ場で野菜が栽培され給食に使われています。

東村小学校と東村保育所では、この学校農園の水田で栽培された米を一年間使われます。また、野菜も朝収穫した旬の物をその日のうちに給食に使われており、子ども達は給食で安心・安全でおいしい米や野菜をいただくことができます。

若草会会員のみなさんは子ども達へおいしい米や野菜を届けることが生きがいになっておられ、いきいきとして農業をしておられます。

また、子ども達の日々の見守りなど多方面でも交流が生まれ、地域の方と子ども達が顔見知りとなり、地域全体の行事にも大きな役割を果たしておられます。



東村小学校が見える田んぼです



野菜もたくさん植えてあります

学校農園は、会員のみなさんがきれいに手入れをしておられ、野菜のほかには花が植えられていました。今はコスモスがきれいに咲いていました。

交代で野菜へ水やりに来られるそうで、来た時の楽しみにとミニトマトを一株残しておられ、ともぎたてをいただきました。トマトの風味が濃くてとてもおいしかったです。



コスモスが秋風に揺れるなか、かかしが仲良く並んで座っていました。

ミニトマトは一粒が大きくて、きれいな赤色になっていました。

新米のおにぎりや漬物もおいしかったです！

若草会では、子ども達に農業を体験してもらうため、ほ場の一部の田植えと稲刈りを毎年昔ながらの手作業でしています。会員の方を中心に地域の方も多数参加されており、子ども達と一緒に田んぼへ入り、手で稲を植えたり、鎌で刈ったりと手取り足取り教えておられます。

普段の農作業では機械化され手で植えたり刈ったりすることがなくなっていますが、子ども達と農業体験することで昔の農業や農家の風景を思い出され懐かしんでおられるようでした。



子どもと一緒に稲刈りです



はざ掛けも最近ではめずらしくなりました

ここ福山市東村町では、一大イベントのかかし祭を毎年開催されており、町内にはかかしがたくさん飾られています。

学校農園でも会員の手作りのかかしが飾られていて、どれも力作ぞろいです。小さなお子さんは、学校農園の前を通ってほしいとお母さんをお願いするそうです。

12月のかかし祭では、もっと手の込んだかかしがお目見えするそうです。今から楽しみです。

ハロウィンや人気のキャラクターのかかしも登場！

